

登録コード	SF802400	開講年度	2026				
授業題目	卒業研究					担当教員	榊原 厚一
英文授業名	Senior Project					副担当	宮原 裕一・笠原 里恵
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	4年
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
						備考	必修 担当教員：物質循環学科全教員・宮原・笠原（湖沼高地環境教育研究センター）
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ						
	【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識					自然の観察力，測定機器による分析技術，データ解析をする力，新しい研究を進める能力，それらをまとめて発表する能力を学ぶ．	
	【2023年度以降加付対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力					自然の観察力，測定機器による分析技術，データ解析をする力，新しい研究を進める能力，それらをまとめて発表する能力を学ぶ．	
	【2023年度以降加付対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み、その成果を社会に役立てる力					自然の観察力，測定機器による分析技術，データ解析をする力，新しい研究を進める能力，それらをまとめて発表する能力を学ぶ．	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	各研究室に所属して、個別のテーマを探究する．						
(5)授業のキーワード	フィールド調査，地球，生態，気候，気象，地形，地層，堆積作用，環境化学，毒性，植生，根系，土壤微生物，窒素循環，湖沼生態系，魚類，環境保全						
(6)授業計画	9月，口頭による中間発表会を実施する． 卒業論文の提出締切は1月末．提出後，公开发表会（口頭）を実施する． 最後に授業のふりかえりを入力する．						
(7)成績評価の方法	最終発表を聴いた上で各指導教員が作成した評価原案にもとに，全教員の議論に基づいて評価する． 費やした労力と努力，得たデータの質と量，口頭発表のわかりやすさ，論文構成の論理性，文章の説得力等を評価対象とする．						
(8)成績評価の基準	評価対象にもとづいた得点（100点満点）により，S： 90点，90点＞A 80点，80点＞B 70点，70点＞C 60点，D＜60点 とする．						
(9)事前事後学習の内容	特になし						
(10)履修上の注意	卒業研究は大学4年間の集大成である．悔いの無いよう全力投球を期待する． 履修に際しては「安全の手引き」を参照すること． 学生保険に加入しておくこと．						
(11)質問,相談への対応	担当教員が随時受け付ける．						
【教科書】	指導教員の指示にしたがう．						
【参考書】	指導教員の指示にしたがう．						